

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

「歴史スキルアップ」の中で、調べ学習の方法について説明するページを設け、「堺市の歴史を調べる」という課題を設定し、郷土大阪の伝統を尊重する心、大阪の文化の創造につながる工夫をしている。また、「深めよう」で、「現代に受けつがれる神話」について2ページを設け、島根県と宮崎県と神話とのつながりについてわかりやすく解説している。巻末の解説・さくいに、「用語解説」を6ページにわたり設けることで、学習内容の理解と定着、自学・自習の習慣につなげられるように工夫している。さらに、「深めよう」で、「解放令から水平社へ」「足尾銅山と田中正造」について特設ページを設け、力強く生き抜いた人々を教材として取り上げ、人間や命を尊ぶとともに環境を守ろうとする精神を養い、生徒が公民としての資質や自分の生き方について考えることを通して、真理と正義を求める心をはじめとする道徳心・社会性が育成できるよう配慮している。表紙の見開き2ページで、「日本の国宝・重要文化財」を、さらに次ページで「日本の世界遺産」もわかりやすく紹介し、わが国の郷土の歴史と伝統を尊重する姿勢、文化や文化財を大切に守っていく心を育てられるように配慮されている。〈①⑦〉

## 2. 教育基本法に基づく観点

「私たち歴史探検隊」という特設ページを設け、「古代の玄関口・福岡」「戦国時代の城下町・一乗谷」「浮世絵にえがかれた風景から」「街の中に残る歴史・神戸」「原爆ドームの保存と平和への願い」「町の歴史から将来を考える」の6つのテーマで、各時代、各地方の地域の歴史を取り上げ、郷土の歴史や伝統を尊重し、新しい文化の創造につながるように工夫している。巻頭の見開き2ページで、日本の国宝・重要文化財の紹介、さらに、次ページで、日本の世界遺産の紹介を行っている。さらに、「深めよう」というページで、「現代の公害問題とその克服」「人類の歴史とエネルギー」について取り上げている。また、近代以降の人物コラムには出身県を表示し、郷土を身近に感じ、興味関心を喚起するように工夫されている。〈④⑥〉

## 3. 学習指導要領に基づく観点

各単元の導入には、学習課題を明示し、単元の終わりには学習内容をまとめる「確認」を設け、説明や要約などを短時間でできる工夫している。また、これを用いての生徒の書簡力や発表力の育成、学習内容の定着、歴史学習への関心・意欲を高め、学力向上につながるよう配慮している。また、各時代の終わりには、「この時代の歴史の学習を確認しよう」を設け、通史学習の確認の積み重ねのもとに、「ウェビング」「比較表」「ディスカッション」など、思考・判断力、発表・表現力の伸長につながるさまざまな学習活動に取り組めるように工夫されている。さらに、「調査の達人」コラムで、調査学習を進める上での基礎的・基本的な技能を身に付けるためのページを設け、図書館・博物館の利用方法、インターネットの利用方法、レポートのまとめ方、プレゼンテーション・ソフトの使い方など、コンピュータを積極的に活用する指導にも工夫が見られ、生徒が広い視野に立つて、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うことができるよう配慮されている。導入部分では、小学校で学習した人物や資料を各章の始めの見開き2ページで紹介し、中学校での学習に興味・関心を持って取り組めるよう工夫されている。〈①⑥⑦⑩⑫〉

## 4. 外的要素に関する観点

巻末の年表の用紙が丈夫であり、使いやすい。表紙のデザインが、歴史の流れに沿った写真が配置され、親しみやすい装丁となっていて、生徒の歴史に関する興味関心を高められる。地図やグラフは大きさも適当であり、カラーバリエーションにも配慮されている。さらに、再生紙・植物油インキを使用し、環境にも配慮されている。また、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を使用し、小さな字が読み取りにくい生徒へも配慮している。針金綴じを用いて製本され、造本は堅牢である。〈①〉

## 5. 構成・配列に関する観点

前章の終わりの「この時代の歴史の学習を確認しよう」の年表と、次章の始めの年表が見開きでつながるように構成されていて、系統だった学習を進めることができる。憲法や領土問題、また、エネルギー問題、震災や防災などのページで、「分野関連マーク」を使い、地理的分野や公民的分野とのつながりを分かりやすく示している。見開きの左ページの下部に、学習する時期が表示されていて、計画だった学習ができるように工夫している。〈①②〉

## 6. 資料その他に関する観点

資料には、見開きのまとまりで通し番号がつけられ、対応する本文の上に図番号を示して関連付けし、理解しやすいように工夫されている。グラフの線も太く描かれ見やすいため、グラフが示す特徴や傾向をとらえやすくしている。本文ページ上部に、学習課題に関わる図版が大きく配置され、学習課題が明確に示されるように工夫されている。小さな資料は実物大で示し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習が進められるように工夫している。〈②〉

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

巻頭5で、「プロローグ～点字のれきし」を設けている。実際に触れることのできる点字とそのしくみ、さらに、点字が発明された歴史について詳しく解説され、視覚に障がいのある人への共感が得られるように配慮されている。目次の単元の見出しが、生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。小学校で学習した歴史上の人物と、中学校で新たに学習する人物の図版資料について、色違いのマークを付して、確認しやすいように配慮されている。各章の終わりに、「学習のまとめと表現」が設けられ、学習した内容を年表や地図で確認できるようになっており、時代の流れをつかみ、整理できるように工夫されている。菱垣廻船とにぎわう大阪の港が触れられていて、郷土大阪について学ぶことができる。「人物から歴史を探ろう」では、例えばオリンピックなどをテーマにした内容もあり興味を喚起することができ国際協調や平和について学ぶことができる。その他には海外への移民や海外青年協力隊の内容も取り扱っており、これらを学習することにより、グローバル化が進む国際社会で力強く生き抜くことができる能力を育むことにつながることもできる。また、日本人として人権擁護の視点で国際的に高い評価をえている杉原千蔵を取扱い、真理と正義、自己の判断と責任で道を切り拓く能力を高めることができる。《②③⑦⑧⑩》

## 2. 教育基本法に基づく観点

「地域の遺跡や古墳を訪ねて」「地域の寺社や墓碑を訪ねて」「地域の街道や港を訪ねて」「大正・昭和初期の面影を訪ねて」「移り変わる戦後の街を訪ねて」の5つのテーマで身近な地域の歴史を調べる活動を取り上げている。さらに、「戦乱の世の自治と領国経営」「改革や平等を求めて」「アイヌの文化を伝えた人たち」「坂上田村麻呂と阿弭流為の戦い」の4つのテーマで、地域から歴史を探るページを設けるなど、郷土や地域の歴史に目を向けさせる工夫が見られる。「世界から歴史を探ろう」という特設ページも3つのテーマを設けて、広く世界へ目を向ける工夫も行っている。また、江戸の町人のくらしを取り扱い、エコロジー、環境保全の態度を養うことができる。《④⑥》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

「資料から歴史を探ろう」という特設ページを設け、「木簡が語る人々のくらし」「地頭を訴える農民/中世の市を訪ねて」「大名行列と藩の財政」「人口から見た日本の歴史」等の5つのテーマを取り上げている。それぞれのテーマの中で、考古資料（木簡）、文献資料（宗門改帳など）、絵画資料（一遍上人絵伝、会津藩参勤交代行列図）、統計資料を使い、それぞれの資料の読み取り方や活用方法などを丁寧に解説している。また、「地域の遺跡や古墳を訪ねて」「地域の寺社や墓碑を訪ねて」「地域の街道や港を訪ねて」などは郷土の歴史に関する興味関心を高め、見学や調査活動により作乐的・体験的な学習ができ、さまざまな資料を活用することにより、考察力・判断力を高められるように配慮されている。巻頭1・2の「歴史のなかの言葉」で、日本や世界で活躍した歴史上の人物を紹介し、その言葉を示すことで、生徒の興味・関心を高め、伸ばす工夫をしている。それぞれの人物が果たした役割について考察するきっかけとなるように工夫されている。また、「タイムトラベル2016」では、小学校で学んだ人物を取り上げ、生まれた年代でグループ分けする作業を行い、その人物が活躍した時期を大観させる工夫をしている。《③⑩⑪⑫⑬》

## 4. 外的要素に関する観点

全体的に資料・写真・地図は大きく、見やすい。文字の大きさや行間も適切である。また、振り仮名が多く振られていて、文章が読みやすく、学習内容の理解がより進み、興味関心を高めて学力の向上につながるよう配慮されている。表紙の写真資料が、「天神祭」の錦絵で、親しみやすい装丁である。地図やグラフは、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインや文字（UDフォント）などに配慮されている。また、環境にやさしい再生紙・植物油インキを使用している。《①②③》

## 5. 構成・配列に関する観点

各章の終わりに「学習のまとめと表現」を見開き2ページで設け、年表・地図・資料を使い、基本的内容の確認ができるように構成されている。また、各見開きの終わりの「ふりかえる」で、ステップ1で学習事項の確認、ステップ2でそれをもとに活用、表現を行う課題を2つ設け、主体的な学習を促し、課題解決に取り組む工夫がなされている。各単元のタイトルの上に、大まかな時代区分が表示され、学習する時代が視覚的に確認できるように配慮されている。巻末の年表が、折り込みを開くと1枚の年表になり、歴史の流れを大観できるように工夫されている。《②③》

## 6. 資料その他に関する観点

資料を実物大で表示したり、長さや大きさを分かりやすく明示する工夫がなされているので、視覚による認識・理解力を高め、具体的なイメージを描きながら学習できるように配慮している。また、各ページでは学習内容についての発問が明示され、あわせて「ふりかえる」では学習内容が復習・理解できるように工夫されている。さらに、「国宝」「重文」「世界遺産」の表示方法にも工夫がなされ、生徒にとって分かりやすいものとなっていて、より歴史に興味を持てるように工夫されている。《①②》

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

教科書本文では、我が国が東アジアをはじめとする世界の諸地域と関連しながら特色ある伝統と文化を形成し、発展してきたことについて記述されている。世界遺産や国宝の写真が多用され、様々な歴史的遺産と伝統・文化の価値を見出し、それを生み出した地域や人々に敬愛の念を持つ態度を養うことができるよう工夫されている。コラムや特設ページである「もっと知りたい歴史」では、具体的な歴史事象が取り上げられてわかりやすく解説されており、興味・関心をもって歴史学習を進めることができるよう工夫されているとともに、歴史事象を多面的・多角的にとらえ、考察することで、我が国と郷土の伝統を尊重できるよう配慮されている。また、考古資料や絵画・文字資料などの歴史的資料をはじめ、地図・グラフなど、豊富な資料が掲載されており、歴史学の方法論に関する特設ページ「歴史のとびら」では、各種の歴史的資料の読み取り方も解説されており、主体的な学習活動を促す内容となっている。各テーマや章のまとめは、単に暗記した知識を問う形ではなく、生徒が各事象の歴史的意義をとらえ、考察し、的確な判断力や豊かな表現力(言語活動)を養うことができるよう工夫がなされている。《①②》

## 2. 教育基本法に基づく観点

人間尊重や人権尊重の精神に関して、西洋や日本における長い歴史の流れの中で、個人の価値が見いだされ尊重されるようになってきた歴史的経緯が記述されており、その重要性を知り、自他の価値と能力を互いに認め合う姿勢が身につくよう配慮されている。生活と豊かな人間性を追求してきたことが系統的に記されており、創造や自主・自立の精神を重んずる態度を養うことができるよう配慮されている。また、日本国憲法の制定にかかわる内容については、民主主義や基本的人権、男女の平等などが先人たちの努力によって歴史的に獲得されたものであることが記述されており、それらを重んずることの大切さを理解するとともに、その実現のために主体的な取り組みや他者との協力を重視する態度を養うことができるよう配慮されている。《②③》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

教科書冒頭では、歴史学習の導入として、小学校第6学年において学習した我が国の歴史上の人物やできごとについて、時代ごとの特色を考えまとめるYチャート作成の学習を設け、小学校での学習内容の復習とともに、中学校の歴史の導入としている。各章の扉絵においては、各章で扱う時代を代表する写真、小学校で学んだ事項に関する写真を配置し、それらを読み取ることでこれから学ぶ時代の特色を予測し展望できるよう工夫がなされている。各章末においては、年表や写真などを用いて各時代を振り返る作業を設け、歴史の移り変わりや事象の歴史的意義をとらえられるように工夫されている。また、生徒自身の言葉で表現させる問いを設けることにより、各章の扉絵や各テーマと呼応した学習のまとめができるよう工夫され、かつ、的確な判断力や豊かな表現力が養われるよう配慮されている。我が国における人権の発達が歴史的な事実をふまえて系統的に記述されている。とくにアジアや女性、被差別部落に対する差別、沖縄・北海道の歩みについては、具体的に詳しく的確に記述されている。朝鮮や台湾の植民地支配にともなう人権侵害についても、丁寧に記述されており、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、国際協力の精神を養うことができるよう配慮されている。《②③④⑦⑧⑨》

## 4. 外的要素に関する観点

本文はだれにも判別しやすいユニバーサル活字(UDフォント)が用いられている。大きさも適当で重要語句はゴシック体で示され、学習の指針となっている。また、カラーバリアフリーの観点から図表などの識別ができるよう留意されている。印刷はオールカラーで歴史学習に有益である。3年間の使用が必要のため、表紙は防水加工がなされており、汚れにくく丈夫で、造本も堅牢である。また、折り込みなどの箇所も適切である。紙面には、再生紙および一部に環境に配慮したインキが使用されている。《①②③》

## 5. 構成・配列に関する観点

見開き2ページに1つのテーマが設定されている。当該時間の学習目標がわかりやすく記述されており、「まとめてみよう」という生徒への具体的な課題も設定されており、授業が展開しやすい。また、思考力・判断力・表現力などの育成にむけての指針も提示されている。歴史上の人物や事件を取り上げたコラムや文字資料が随所に配置され、生徒の興味・関心を引き出すとともに、多角的・多面的に歴史をとらえ、考察することができるよう配慮がなされている。《①②③》

## 6. 資料その他に関する観点

視覚による理解と興味・関心を深めるために、歴史地図や写真・文字資料・統計などがオールカラーで豊富に掲載されている。写真や地図などには、見開きごとに図番号が付されており、授業の展開上、便利である。特に重要な世界地図については大きく掲載されており学習に有効である。本文・写真・グラフ・地図など、すべてにわたって内容・用語が吟味され、出典も適正である。《①②》

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

各授業の始めに「学習課題」を設定し、単元の終わりには「確認しよう」で、学習上大切なことから本文中からぬき出す作業が設定されている。また、「説明しよう」で、自分のことばで説明し、学習内容の確認と定着が図れるように工夫されている。さらに、各部ごとの「学習をふりかえろう」では、年表を用いて学習を整理する課題や、資料の読み取り、地図を用いたまとめの課題が設けられ、学習内容の整理ができ、学力の向上につながるように工夫されている。「歴史を探ろう」で、「発展する大阪・神戸」をテーマに特設ページを設け、明治後期から大正・昭和初期にかけての大阪・神戸の発展について取り上げており、郷土の歴史への興味・関心を高め、郷土を大切にすることを養うことができる。巻頭1・2で、日本各地の祭りについて紹介することで、日本のさまざまな地域の歴史や伝統、そこに生きる人々の生活を理解しつつ、わが国の文化や伝統を尊重する姿勢が育つように工夫されている。平和や国際交流に関して、グローバル化が進む国際社会で生き抜く力を備えるために「羅針盤マーク」のコラム欄を設けている。《⑥⑦⑧》

## 2. 教育基本法に基づく観点

自然環境や環境保全について扱ったコラムが、「自然をうやまつた古代の人々」「森林伐採と植林」「自然を生かした信玄堀」「環境問題や災害に生かす知恵と技術」など、7つのテーマで取り上げている。また、「中世の老人と子ども、女性」「庭園づくりで活躍した河原者」「洗染一揆」「人種差別撤廃への道」「在日韓国・朝鮮人」「男女共同参画社会へ」「日本における先住民」など、13のテーマで、人権問題を取り上げて、自他の尊重と協力、男女の平等などの意識が高まるように工夫されている。さらに、「自然環境」「交流」「平和」などをテーマに、「羅針盤マーク」を付けたコラムを設け、環境問題や海外との交流、平和について考えさせ、国際社会の中で力強く生き抜くことができる能力の育成に配慮されている。《③④⑤》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

各時代の文化について、最大4ページを使用し、1ページ目には、写真資料を大きく表示するなど、代表的な事例を印象的に示し、その特色を考えさせるように工夫している。また、各部の始めに、興味・関心を高める「タイムトラベル」を設け、各時代のイメージをふくらませるとともに、前の時代との比較や課題の発見が行えるよう工夫されている。また、各部の学習の後には、「学習をふりかえろう」を見開き2ページで設け、年表・地図・資料で学習を整理し、時代の特色を文章で表現したり、グループでの意見交換ができるように工夫されている。さらに、歴史上の人物を詳しく紹介する人物コラムでは、43名の人物を紹介し、生徒の歴史への興味関心を高めるために工夫したものとなっている。「技能をみがく」「トライアル歴史」では、情報の集め方やレポートのまとめ方、発表の仕方、資料の読み取り方などを解説し、資料を活用する学習活動に取り組み、作業的・体験的な学習の充実を図ることができるように工夫されている。巻末年表に、日本、東アジア、主な世界のできごと、日本と海外の交流が示され、日本と世界の歴史を関連付けて学習できるように工夫されている。各時代（平安や鎌倉等）の文化史のページが多く、各時代の振り返りができるような工夫がある。《④⑥⑦⑧⑨⑩⑪》

## 4. 外的要素に関する観点

文字の大きさ、行間、文章の量も適切である。教科書見開きで、ページ上部に大きな写真や資料、左右のページ端に、人物コラムや資料、グラフ、左右ページ中央部に本文があり、位置が適切である。グラフ・地図などの資料は、カラーユニバーサルデザインやUDフォント等に配慮して印刷されている。また、環境にやさしい再生紙・ライスイंकを使用している。一方、写真がきれいに見えるように裏映りが少ないものを使用し、細かなところまで工夫がなされている。《②③》

## 5. 構成・配列に関する観点

巻末の「人物さくいん」が、小学校で学習した人物、政治に関係がある人物、国際交流に力をつくした人物、地域のために力をつくした人物など、名前に下線や、☆印を付けるなど、基本的内容が身に付くように、分かりやすく示している。また、復習等の学習にも有効である。小さい資料は実物大で示し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるように工夫されている。また、地図上で歴史の復習や確認作業を行う時にも、地理的分野と関連付けがされている。《②③》

## 6. 資料その他に関する観点

教科書見開き上部の写真資料が大きく、大変見やすい。グラフの線も太く描かれ見やすいため、グラフが示す特徴や傾向をとらえやすくしている。本文ページの上には学習課題に関わる図版が大きく掲載されている。また、課題の内容が明確に示されていて、学習意欲の喚起につながる。さらに、文書資料が大変多く掲載され、教科書との関連が的確である。写真資料や絵が数多く掲載され、視覚的に捉えることで理解度を高める工夫がなされている。《②》

## 1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

意欲的に学習に取り組めるよう、学習のねらいを明確にし、思考力・判断力・表現力の向上を図りながら、学習の成果を実感できるよう構成するとともに、職業および生活と歴史との関わりを知り、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮がなされている。学習したことを活用しながら、「時代の転換のようす」や「時代の特色」について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動が、各時代に配置されている。この学習活動に取り組むことで、各時代の特色の理解をいっそう深めることができるよう工夫されている。「歴史を掘り下げる」では、「文化財を守り伝える仕事」や、「山本作兵衛の炭鉱配録面」など、近代産業を支えた人々の記録や文化財の修理に取り組む博物館などの仕事をとり上げている。また、我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国際理解を深めることができる内容を豊富に取り上げ、自分たちの住む身近な地域や我が国を愛する心、他国を尊重する態度を育てることができるよう配慮されている。「でかけよう！地域調べ」では、「大阪の空襲を調べる一大阪府大阪市」や「先人に学ぶ」で災害の歴史を学び私たちの未来に生かすため、大阪での津波被害を取り上げるなど、身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方、学び方を習得し、地域を大切にすることを養う配慮がなされている。《④⑥⑦⑧》

## 2. 教育基本法に基づく観点

「歴史を掘り下げる」では、「中世の女性たち」、「新しい世の中をめざした人々」、「アイヌと沖繩の近代と現代」を、「先人に学ぶ」では「エルトゥールル号遭難事件」、「新渡戸稲造と杉原千畝」など、人権尊重、男女平等などに関わる歴史的現象を豊富に取り上げるとともに、協働して取り組む学習の場面では、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけられるようにするとともに、社会の一員としての自覚が深まるよう配慮されている。また、各時代の文化の特色を当時の社会のようすと関連させて理解するとともに、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えることができるよう配慮がなされている。「でかけよう！地域調べ」では、身近な地域の歴史を調べる具体的な学習活動を提示し、地域の歴史に対する興味・関心を高めるとともに、歴史の調べ方、学び方を習得し、地域を大切にすることを養う配慮がなされている。《⑥⑧》

## 3. 学習指導要領に基づく観点

各時代の学習では、学習のねらいを定め、意欲をもって学習に取り組むことができるよう導入を充実させている。本文は十分な文字量が確保され、平易な表現で歴史の流れや因果関係が丁寧に叙述されている。また、各時代の前半部分に「時代の転換のようす」をとらえる学習活動を置き、導入に対するまとめの部分では、習得した知識を活用して時代の特色をとらえることをねらいとした学習活動が設けられている。このような構成で各時代の学習を繰り返すことで、各時代の特色をふまえながら、我が国の歴史の大きな流れを確実に理解できるように工夫されている。《①②⑤》また、世界の古代文明や宗教のおこりなど、世界史の教材が豊富に掲載されている。各章、各章の導入に「地図で見る世界の動き」があり、世界の様子を概観して学習を始め、世界の動きのなかで日本史をとらえるように単元が構成されていることで、歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解し、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせる工夫がなされている。《④》教科書本文下部に矢印マークで小学校社会科の内容との関連、また、他分野との関連が示されており、小学校の学習内容や各分野相互の有機的な関連が図れるよう工夫がなされている。《①②④⑥⑧》

## 4. 外的要素に関する観点

表紙の装丁は、歴史的分野の内容に即した世界的にも重要な文化財などのイラストを大胆に配置し、生徒の学習意欲を喚起するものとなっている。教科書の印刷には、植物油インキが使用されている。製本には化学物質過敏症の原因物質は使用せず、再生紙を使用して、人体や環境への影響を少なくしている。製本は、堅牢なあじろ綴じが採用され、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくい本になっている。また、良質で軽い紙を使用して重量をおさえるとともに、長期の使用に耐えうるよう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工されている。《①②》

## 5. 構成・配列に関する観点

教科書本文は、原則1授業時間を見開き2ページの紙面構成となっている。この見開きで何を学ぶのが「学習課題」で明確に示されている。また、右ページの側注欄に「学習の確認と活用」が設けられ、学習のポイントの確かな定着を企図した学習活動や、自分の考えを説明することを促す問いかけが提示されている。「基本用語」などの歴史の学習に必要な情報が関連に配置され、生徒の学習をささえている。また、こうした情報を使って思考力・判断力・表現力を培う「言語活動コーナー」が適宜配され、自己の学習成果を振り返る構成となっている。章末には振り返りの年表学習の解答例があげられており、自主学習に役立てることができる。《①②③》

## 6. 資料その他に関する観点

各時代のくらしのようすなどは、『奈良時代のくらし』、『江戸の町のようす』、『高度経済成長期のくらし』など、古代・中世・近世・近代・現代の各時代に図版特集を設け、大判紙面を生かして大きく美しい写真やイラストで示されている。『東大寺南大門の金剛力士像の大きさ』、『唐獅子図屏風の大きさ』など、文化財の大きさを生徒と比較して示したり、『岩宿遺跡で発見された打製石器』などは実物大に掲載するなど、資料を読み取る学習の楽しさを伝え、資料活用の向上を図る工夫がなされている。《②》

## 1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

古事記・日本書紀に書かれた神話や伝承を4ページにわたり取り扱っている。本文では、超自然的な物語でただちに歴史的事実として扱うことができないとしながら、一つの単元としてどうやって国ができたか、などの神々の神話や系図を使って細かく学習できるものになっている。他のコラムで古代日本人のものの考え方や政治の在り方の理想について取り扱っている。また、「日本」という国名の起こりについても触れられている。「倭」から7世紀の初めに自主・対等の姿勢を示し「日本」に国名を変更していく話は、歴史学習の後半で朝鮮・中国やアジア地域で学ぶ民族自決という考え方を自分のこととして学ぶ機会になる。「コラム 人物クローズアップ」で渋沢栄一を取り上げているが、実業家や経済界の指導者といった肩書や彼の業績の説明ではなく、その成功の陰には培われた道徳心と公共心があるという話は豊かな人間性と創造性を備えることができるように配慮されている。また、「コラム 外の目から見た日本」では、幕末・明治期の日本人の生き方について、当時の日本人の礼儀正しさを代償を求めない親切さについて、外国人の視点で取り上げられており、道徳心、社会性の育成に配慮されている。<⑥⑦⑧>

## 2. 教育基本法に基づく観点

「我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる」ことをめざして構成されている。歴史を単なる事実の羅列でないという意味を持たせた内容で伝えようとしている。特に、「コラム 人物クローズアップ」などで取り上げている津田梅子、二宮尊徳、伊能忠敬、イザベラ・バード、福沢諭吉、伊藤博文、昭和天皇などの説明とそれぞれのエピソードは日本の伝統と文化に誇りをもち、生徒が自身の言葉で日本の歴史を語るることができるように工夫されて、わかりやすく示している。もっと知りたいコラム勇気と友情の物語「世界と交流した近代日本」や東日本大震災を取り扱った部分では、主体的に社会の形成に参画・寄与する態度や国際社会の発展に寄与する態度を養うことができる。<⑨⑩>

## 3. 学習指導要領に基づく観点

歴史に厚みと奥行きを与える独自の読み物として随所に用意されたコラムやミニコラムは歴史的事象を多角的にとらえることができ、また別の着眼点を提示することにより、本文の内容もより理解・定着できるものとなっている。例えば、「外の目から見た日本」では、朝志倭人伝にある邪馬台国及び、倭人の性格と特徴を外の目から見た記録となっている。小学校で習った人物を通して時代の把握を歴史学習の導入で活用している。200字でミニ伝記をつくる、人物カードを作るなどの人物に焦点をあてて歴史を調べるができるよう工夫されている。また教科書全体を通して人物から時代を読み解く箇所が多くその流れを小学校の復習でできるのは生徒も歴史学習に興味を持ちやすいと考える。宗教についての学習は事実と歴史、各地方での現状を理解することが重要であるがとくに自分の信仰する宗教を持たない人が多い日本において、その考え方を理解するのが難しい。宗教のおこり道という単元は三大宗教の学習にとどまらず、アニミズムや自然崇拜・祖先崇拜、一神教や多神教などの考え方を知ることなどにも触れていて、宗教について学習できる内容になっている。先述の日本の神話・伝承の学習は神道の理解にもつながるものになっている。<⑫⑬⑭>

## 4. 外的要素に関する観点

製本は丈夫で年表も日本のできごと、世界のできごと、文化、朝鮮・中国の国名が簡潔にまとめてあり、わかりやすく見やすいものになっている。また、折り込んだ見開きのものではないので使いやすい。最後のページに年表から西暦への早見表があり便利に活用できる。旧国名を記した日本地図も大きくて、ほとんどの旧国名が各都道府県に直接記載されていて、見やすい。索引も人名と事項、両項目があってわかりやすい。また、環境に配慮した紙、インクを使用している。<①>

## 5. 構成・配列に関する観点

各章のまとめがそれぞれの時代を概括した問答と問題、意見交換のテーマがあり、また歴史豆辞典と題して100字用語解説を設け、用語の意味をまとめたものがあり、振り返り学習や主体的な学習に役立てることができる。また、地図を用いての歴史事項の確認学習では、地理的分野との関連に工夫がみられる。各単元の最後には「まとめにチャレンジ」として内容を箇条書きでピックアップさせたり、説明させたりすることで理解を深めることができる問題を示しており、単元の学習テーマを振り返って自分なりの考えをまとめる学習ができる内容になっている。<⑫⑬>

## 6. 資料その他に関する観点

資料はどこの出典かわかるように明記され、特に美術品などは国宝や重要文化財がわかるようにマークされている。他ではあまり見ないような資料も多く、独創的で興味を持てるものになっている。教科書との関連が的確で、拡大などを効果的に使い、わかりやすく配慮されている。欧米諸国との各事件は本文でも学習するが、「欧米諸国の船が目撃された数」という地図資料によってたくさんの外国船が日本の周辺を往きかっていたのかが一目で読み取れるものになっている。ただし、写真の鮮明さに配慮が必要な部分もある。<⑫>

## 1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

「歴史ズームイン」、「人物クローズアップ」、「課題学習」、「歴史ビュー」、「歴史の名場面」などの豊富な特集コラムで、歴史を多面的・多角的にとらえることができるようになっている。それぞれのコラムでは、その歴史的背景や経緯にふれ、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う糧となるよう配慮されている。また、「人物クローズアップ」では、日本の歴史の中から、美徳を体現した人物や、国家や人生の岐路において道を切りひらいていった人物などが、その人間的な魅力とともに紹介され、その先人の生き方から現在の日本人として大切にすべき態度が養われるよう配慮されている。たとえば、「世界の平和に力をつくした新渡戸稲造」では、日本人の道徳的規範を英文で著した新渡戸稲造の「武士道」について記すことで道徳心を、彼が国際連盟事務次長として国際協調に努めたほか女子教育にも力を注いだことを記すことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を、さらに我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。〈①②③④⑤⑥⑦⑧〉

## 2. 教育基本法に基づく観点

教育基本法第2条に規定された教育目標を達成するために、「歴史を築いた「人物」の役割」、「世界の歴史とのかかわりを学び、国際理解を深める」ことが重視されている。特集コラム「人物クローズアップ」では、先人の生き方から、道徳心、自主・自立の精神、勤労を重んずる態度、正義と責任、公共の精神などに配慮されている。また、「なでしこ日本史」では女性たちの活躍にも注目し、各時代を代表する女性の生き方が紹介されている。特集コラム「このころの世界は」では、各時代の、同時代の外国の動きが詳しく紹介されており、これにより、幅広い知識と教養が身に付けられ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。歴史学習の最終で、未来の社会を考える部分で、人権や差別の問題についての言及に配慮を要する。〈①②③⑤〉

## 3. 学習指導要領に基づく観点

各章の冒頭に「鳥の目で見ると、歴史絵巻」が設けられており、見開き2ページで各時代の歴史の大きな流れが一目でわかるよう工夫されている。歴史絵巻の中には、わかりやすいイラストと取り組みやすい問いがあり、生徒が各時代の歴史事象に対して関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解することができるよう配慮されている。また、次の見開き2ページでは、「虫の目で見ると、○○の世界へようこそ」が設けられており、各時代を象徴する歴史事象がクローズアップされ、政治、産業、社会、文化などを他の時代との共通点や相違点に着目して、各時代の特色を明らかにした上で、我が国の歴史を大きくとらえる力を養う工夫がなされている。「調べてみよう」のなかでは奈良や京都を取り扱い、身近な地域の歴史と関連した学習が進められ、歴史に対する興味関心を高めることができるよう工夫されている。また、各章の扉絵には、周辺を海に囲まれた我が国の歴史的な歩みを、諸外国とのかかわりのなかから紹介する、「海洋国家・日本のあゆみ①～⑥」が記載されている。丸木舟、遣明船、朱印船、成麻丸、戦艦大和、日章丸など、各時代を代表する船を取り上げ、船の紹介とこれらの船にまつわる疑問から、外国と日本の関わりや時代を多角的に考察できるよう工夫がなされている。〈①②④⑤⑥⑩〉

## 4. 外的要素に関する観点

視覚的効果が高い幅広い版型が用いられ、写真や文字が鮮明に見える材質の紙が使用されている。使用されている文字、ふりがなの大きさや書体は適切で、読みやすいものとなっている。環境への配慮として、植物油インキが使用されており、本文用紙の一部には再生紙が使用されている。表紙には、古代から現在へ一本の帯でつながるように描かれており、その帯の中には各時代を象徴する資料が並べられ、歴史学習への親しみと関心が高められるようにデザインされている。〈①②〉

## 5. 構成・配列に関する観点

1授業時間の本文の分量が、見開き2ページにまとめられている。見開きの冒頭部分では、生徒が興味・関心を持って学習できるような「資料」、学習のねらいがわかる「学習課題」が掲載されており、学習内容をつかむ役割を果たしている。本文で学習内容を理解し、見開きの最後の部分には、「学習課題」に対応した「まとめの課題」が掲載されており、学習内容を理解できているかを確認したり、論述形式でまとめるなど、言語活動の取り組みにも対応している。〈②③〉

## 6. 資料その他に関する観点

「歴史ズームイン」「歴史ビュー」「課題学習」「歴史の名場面」など、生徒が歴史的事象を、一面的にとらえるのではなく、多面的・多角的に考察し、公正に判断できるよう、多様な資料が採用されている。また、資料の配列については、部分的に資料が拡大されていたり、資料を読み取るための視点を示すなど、生徒の歴史的事象に対する興味・関心を高める工夫がなされている。掲載された資料には実寸が記載されており、生徒が歴史的事象について想像力を湧き立たせる工夫がなされている。〈①②〉

## 1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

商業の発展と元禄文化の学習で、富をたくわえた大坂商人について取り上げ、蒲池家、住友家、三井家などの豪商に加え、淀屋は五代目辰五郎が全財産を没収された話を「フォーカス」として詳しく記述している。大阪が全国の商品とお金の流れの中心になっている当時の流通のようすが理解しやすく、まさしく「天下の台所」「商都大阪」にふさわしい内容となっている。ドイツのナチ党による政治の学習でユダヤ人の迫害を知り、また当時のドイツ人がどんな考えでヒトラーに傾倒していったのかを当時の情勢も踏まえつつ学習を深めることで、真理と正義とは何か学ぶことができる。また、大戦の終わりを迎えた世界の人々の様子が写し撮られている。終戦を待ち焦がれていた人々の様子から戦争をどのような気持ちで耐えていたのかが感じ取れる。「現代の日本と世界」の扉では、「今、世界の子どもたちは」で世界各地の子どもたちに聞いたそれぞれの夢と希望を表し、未来のことを考えるきっかけになる。世界の子どもたちの考えを知り、想像することで養われるグローバルな感覚は国際社会を身近に感じることができる。さらに、右上に「歴史学習を終えて」というまとめを受けて、「今、世界の子どもたちは」の子どもたちの中に、自分の写真を貼って自らも歴史を作り上げるひとりであることに着目させ、現代の課題を考えさせる工夫をしている。〈⑥⑦⑩〉

## 2. 教育基本法に基づく観点

全体を通じて様々な立場の人々の気持ちが汲み取れるものが多い。例えば、「学童疎開に行く子と行けない子」は、それぞれの立場に合った気持ちを考えられるものになっており、疎開先の質素な食事メニューまである。また、戦災孤児について取り上げ、戦争がもたらす悲劇を表現しようとしている。また、別のページでは、「少女双六」を一番大きな資料として取り扱い、当時の女性のおかれた立場と女性の地位向上を歴史のできごとと深く組み合わせ、「青鞥」の発刊を当時の状況などもふまえて詳しく説明し、新婦人協会の説明も平塚らいてうと市川房枝両者の名前と写真も載せつつ、女性参政権運動と、女性が社会の形成に参画する態度を、歴史を学ぶ中で養えるように配慮している。〈②③〉

## 3. 学習指導要領に基づく観点

喜劇王チャップリンを本文で紹介し、社会風刺作品の代表作である「モダン・タイムス」や「独裁者」を取り上げ、力強く生きた民衆の姿を理解させるように工夫されていて、第一次世界大戦後の文化や社会の雰囲気を感じ取ることができる。また、日本軍が全滅したおもな島の図や特攻隊員の母への遺書などを通じて、多くの犠牲者がいたことを知ることで、戦争の悲惨さを理解することができる。世界を結ぶ交通手段として様々な船と移動に使われていた動物が紹介されている。それぞれの船の特徴や利用していた人々の様子、それによって成し得た歴史的な事象まで見開きのページで明示し、一目で分かりやすく理解できるように工夫されている。勘合がどのように使われていたのかを詳細に記し、当時の貿易に関する工夫を理解することができるようにしている。世界各地の世界遺産を歴史的な事象に触れながら理解することができ、日本の歴史遺産にも興味関心が寄せられるように工夫がなされている。巻末の「歴史を体験する」では、「火と人類の歴史をさぐる」として、いろいろな発火法や火起こし実験の仕方を紹介したり、インターネットで浴中浴外図屏風を見たりするなど、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。〈②④⑥⑩〉

## 4. 外的要素に関する観点

製本は大きく、新しく開いたページでも強く押しこまなくても開いた状態を保つ事ができる。装丁は表紙に大きな木を描くことにより、全体を通じて伝えたい「人々が何よりも、自然を大切に、生命を尊重して、環境の保全に努めてきたことを、人類誕生以来の営みとしてきた歴史の中で生きる人々の尊厳や創造性、自主・自立の精神の大切さに気付くこと」というテーマを表している。本文は重要語句を太字で表わしていないことで、十分に文章を読んで太字に頼らない主体的な学習姿勢を培うことができる。単元の最初に使われている写真などの資料はとて大きくて印象的に残しやすい。〈①②③〉

## 5. 構成・配列に関する観点

巻頭に世界地図、巻末に日本地図と旧国名と国境（くにごかい）が表記した歴史地図が配置され、ほとんどの旧国名が各都道府県に直接記載されているし、大きくて見やすい。またそれぞれに歴史学習との関係地や史跡が表記してあるので歴史学習の中で地理的要素もすぐに確認できるようになっている。タイトルが工夫されており、例えば、江戸幕府の外交の学習では「日本町が消える」や鎌倉時代の荘園の学習では「地頭が村にやってきた」など生徒にタイトルを示すだけで、視点や見方を変え主体的に考えることができるよう導入に工夫がなされている。〈①③〉

## 6. 資料その他に関する観点

資料は全体的にグラフや統計よりも大きな写真やイラストを多く採用していて、視覚によって学習理解を増す工夫をしている。また、さまざまな資料を提示し、多角的に考えさせられるものも多く、印象に残りやすいものとなっている。アヘン戦争の学習では「アヘンを吸う人たち」をイラストではなく、写真を使うことによってアヘン被害を現実的に捉えることができる。各章の始めに同じ世界地図を使って説明することによって、各章での学習時に資料を確認するとき、その時代にどんなことがあったのかが系統的に理解することができる。〈②〉